

ママ目線の地元情報が満載! 『えがおレポート』



おすすめの公園、地域のイベント、毎日のちょっと気になるあれこれ…地元のママだから知っている逗子の子育て情報、もっと知りたいな。教えてシズオ!

最近、おもしろいホームページを見つけたの! 『えがおレポート』っていうんだけど、逗子の子育て情報がたくさん紹介されていて、ついつい読み込んでしまった。逗子市役所の子育てポータルサイト『えがお』に掲載されているんだけど、どんな人が書いているのかな?



久木の Yさん

『えがおレポート』は、逗子で子育て中のママたちがレポーターとして取材・記事作成を行っているんだよ。記事のテーマもママたちのアイデアによるものだから、子育て中に本当に知りたい情報が厳選されているんだ。



コロナ禍でママ友と会って情報交換する機会が減ったから、ホームページで手軽に地元の情報を入手できるのは助かるよ。子育ての合間にさくっと読める長さなのもいいね。



「お出かけ」「施設」「イベント」「公園」などカテゴリ別に記事を探すこともできるよ。



私のお気に入り「公園」!

家の近くの公園しか行ったことがなかったけど、ちょっと足を伸ばせば素敵な公園がまだまだたくさんあることがわかって、子どもとお出かけが楽しくなったよ。



レポートはほぼ毎月更新されるから、定期的にチェックしてみてね。



<http://www.city.zushi.kanagawa.jp/egao>

えがおレポートのバックナンバーはこちらのQRコードから

フレッシュスタッフのご紹介♪

上の子を妊娠してから専業主婦として過ごして来ましたが、コロナ禍で働き方について考える機会があり在宅で仕事ができるようにデザインソフトの使い方を学びました。これを活かさないかと思っていた時に、『陽だまり』編集募集を見たママ友が応募してみても?とってくれたことがきっかけで今に至ります。実際に活動をしてみて、『陽だまり』制作の裏側が見えスタッフの温かな心遣いがギュッと詰まっているんだなと改めて体感しました。私も『陽だまり』スタッフの一員として逗子で子育てをする方々に貢献していけたらと思います。(カフェイン中毒マン)

最初に手にした『陽だまり』の記事に惹かれ、また読みたいなど思っていた時に募集を知りました。当時娘は5ヶ月。子どもにかかる時間が大半ですが自分の時間も大切にしながら自分自身でできることを探していました。赤ちゃんがいても大丈夫か最初は不安でしたが、陽だまりにいるママさん達は明るくて優しい方ばかり。読むとホッとするそんな『陽だまり』をお届けしたいです。(爆食いケーキマン)

■ボランティアスタッフ募集

市と社会福祉協議会で発行・運営する子育て応援紙『陽だまり』と子育てポータルサイトえがお『えがおレポート』は、逗子のママ達の手で作られています。一緒に楽しく活動してみませんか? *若干の謝礼あり。

▶『陽だまり』編集スタッフ: 子育て応援紙『陽だまり』の制作。各号2~3回の編集会議に参加、自宅でメールや原稿チェック、企画案出し・取材・編集などを分担。年4回発行。

▶「えがおレポート」: 逗子市子育てポータルサイトえがお『えがおレポート』のレポーター。年2回程度の会議に参加、年3~4本の取材と原稿作成。

任期: 2022年4月~2023年3月

募集人数: 若干名

対象: 子育て中の市内在住者で、パソコンの基本的な操作ができる人(『陽だまり』はデザインできると尚可)
*性別不問、子ども連れ参加可。

応募方法: 3月20日(日)までに①住所②氏名③電話番号④Eメールアドレス⑤子どもの年齢⑥応募のきっかけ⑦希望職種(『陽だまり』または「えがおレポート」)を、Eメールで子育て支援課へ。市ホームページからも応募可。追って面接日を連絡します。MAIL: kosodate@city.zushi.lg.jp

子育て応援紙陽だまり ボランティアスタッフ 逗子



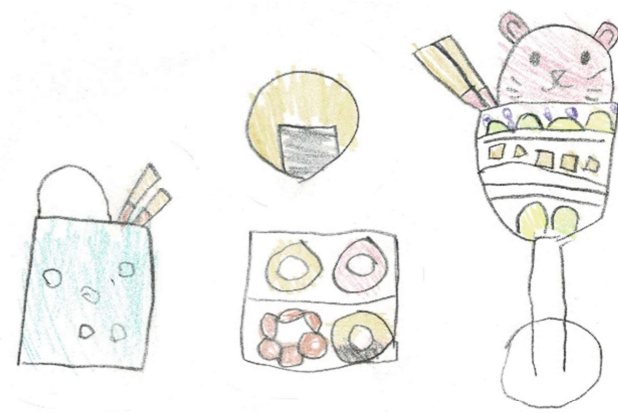
陽だまり

FREE PAPER

逗子で楽しい子育てを
みんなで楽しんだ
創刊20周年
逗子のママたちが
制作しています

【特集】

思ってたのと違う!
子育てリアルエピソード



池子のHちゃん(6才)が描いてくれました



~地域でご活躍の方々から 子育て応援メッセージ~

明星大学教育学部教育学科教授

星山麻木

子育てをしていると急にひとりぼっちだと感じたり、悲しくなったりすることはありませんか?自分はダメだと思ったり、子どもは悪くないとわかっていても子どもにイライラしたり、自分の情緒が安定しないこともあるかもしれません。でもご安心ください。人間である限り、一人で完璧に子育てできる親なんて、最初からいないのです。人間は一人になると不安になるようにできています。だからこそ私たちは群れをつくり、助け合って子育てをしたくなるというわけです。子育て期に本当に必要なのは、温かな仲間。逗子は自然や温かな人の輪があるところです。心の中のコップが空っぽでは子どもに愛情を注ぐことは辛くなります。そんなときは豊かな自然や人に沢山注いでもらってください。そして、皆で子どもたちのコップに豊かな愛情を注いでいきましょう。もし淋しい人がいたとしても、皆で注げたら、とても素敵なことだと思います。

<プロフィール>

保健学博士。日本音楽療法学会認定音楽療法士。
逗子市「子育てサポーター育成講座」講師。映画『星の国から孫ふたり』監修。
NHK Eテレ『すくすく子育て』、NHK Eテレ ハートネットTV『発達障害の子どもたちとともに』監修出演。

▶問い合わせ先

社会福祉法人 逗子市社会福祉協議会 地域福祉推進係
〒249-0005 逗子市桜山5-32-1(福祉会館内)
HP <http://zushi-shakyo.com/>
TEL 046-873-8011 FAX 046-872-2519
Eメール sunny@zushi-shakyo.com

▶発行元

逗子市教育部 子育て支援課
〒249-8686 逗子市逗子5-2-16
HP <http://www.city.zushi.kanagawa.jp/>
TEL 046-873-1111(代表)
FAX 046-873-4520

10 13 小4男の子
中学生男の子ママ



アイスよりも冷たい反応が待っていた…

子どもが小さかった頃、「アイス買いに行く人〜？」と声をかけたら「は〜い」と言いながら大喜びで手をあげて寄ってきたのに、今では二人そろって「行かない」と冷たい反応（涙）アイスやお菓子につられなくなったのはいつからだろうと思いつく今日この頃です。

11か月女の子のママ

3時間おき授乳からの解放

産院で教わった3時間おき授乳を退院後も続けて寝不足の日々。3時間経ったから起こさなきゃ！と寝ていても起こしていた。睡眠を遮られ泣く娘と、再び眠るまで抱っこしっぱなしで疲労が溜まる私。早く寝てくれ〜と呪文のように唱えたり、置いた瞬間泣いて私が泣きたい…と涙目になったり、深夜の抱っこはとっても孤独。そんな私をみた母は、寝てるなら無理に起こさなくていいんじゃない？と言ってくれた。友人からも、2人目は全然起こさなかったけど元気に育ってるよ〜と言われ肩の荷がおりた。子育ては、その通りにしなくても子どもの様子を見て変えていけばいいんだと実感したら一皮むけたように気持ち楽になった。

6 11 14 6才女の子
小5女の子
中学生男の子ママ

子育て「あー」な瞬間

- ・詰め替えのシャンプーをボトルに注いでいるときに子どもに倒された時「あー！！！」
- ・ちょっと落ち着いたら温かいコーヒーを入れたら、子どもに呼ばれて、戻ったら冷めていて、レンチンしていたら今度はおもらして呼ばれて、終わったらレンジでコーヒーがあふれかえっていた時「あー・・・」
- ・次に履かせようと思っていた靴が、夏場サンダルで過ごして、秋にいざ履かせようとしたらキツくなってしまった時「あーあ」
- ・中学生になった息子。何か聞いても返事は「あー」。YESかNOかもわからないが、お年頃でしゃべりたくない様子。

2才半男の子のママ

子どもを通して気づく優しさ

公園で大好きなボール遊びをしていたある日、ボールが側溝にはまってしまい、息子は地面に転がってずーっと泣きじゃくっていました。併設のテニスコートでテニスをしていた方は心配してテニスボールをくださり、それでも泣き止まない息子のために公園事務所に連絡してくれました。駆けつけてくださった公園事務所の方は虫取り網と竹竿でボールを取ってくれました。子どもを見守り、子育てを応援してくださる多くの方の優しさに感謝する日々です。

7 小1男の子のママ

熱痙攣！救急車！からの、ワーママあるある（涙）

1才半、夜中3時に熱痙攣で初めての救急車！インフルエンザ判定で5日間つきっきり。子どもも不安だけど仕事も不安でした。4才の時は保育園で熱痙攣が起こり救急車。「今すぐ向かいます！」も虚しく、都内から病院まで2時間、母無力。ワーママは保育園の協力があってこそその乳幼児期の子育てです。感謝しかありません！

「今日からオレは！」小学校入学式編

入学式を終えた息子、寝る前に母に宣誓&提言してきました。「今日からオレは1年生になる。ママも楽しいことにたくさんチャレンジしてください！（キッパリ!）」これ、校長先生のお話と同じだ！頼もしく思いつつ笑いを堪えるのが大変でした！

小学1年生って忙しいから！（ドヤ!）

1年生になってからの誇らしげな一言「1年生って忙しいから。ひらがなにカタカナ、漢字…全部やるから。（ドヤ）」実は誇らしげな顔を見て、心の中で爆笑！



子育てリアルエピソード 思ってたのと違う！

葛藤しながらも日々頑張るママやパパ。それでも子育ては思い通りにはいかないことの連続。『陽だまり』スタッフの想いがこもったリアルエピソードをご紹介します！



人見知りも1つの個性

娘は赤ちゃんの頃から人見知りが激しく、外ではずっとママにべったりだったので公園などで周りのママとゆっくり話すことが全然出来ずにモヤモヤ。幼稚園に入っても変わらず、やはりママ友となかなか話せない…。情報交換しなかったのになぁと悲しい思いを何度もなくしましたが、年長になり少しずつ離れることも出来てきました。今思うのは、娘は人見知りはあるけれど園ではお友だちと楽しく遊べていて、ただ慎重で心配しやすい性格なんだなということ。以前は、未就園の時に私がもっと行動的だったら何か違ったのかな？と思ったりしましたが、今は娘の個性であり変える必要なんてないなと受け入れられています。

3才男の子
6才女の子のママ

終わりは突然やって来る！

去年の夏休み、娘が突然「今日から1人で寝る！」と言いだし、またまた〜と思っていたら本当に1人で寝てしまいました（理由を聞いても、秘密だそう）。まだまだ家族4人で一緒に寝られると思っていたので淋しくて1人、布団で泣きました。結局2週間くらいで終わり、その後また4人で寝ていますが、寝る・お風呂に入るなど一緒に出来ていること、少し面倒だったりすることも突然終わりが来るんだ！と実感。今を噛みしめておかないと思うように。

9 小3男の子のママ

いざ出産！って、思ってたのと違う〜

助産院での自然なお産を望み、予定日2週間後によく訪れた微弱陣痛。しかし、陣痛のたびに弱まる息子の心拍に、総合病院へ救急搬送&緊急帝王切開に。へその緒が二周、首に巻き付いていたそう。無事に生まれたことに安堵しつつ、子育ては自分の思い通りにいかないんだと実感した出産でした。

10 13 小4男の子
中学生女の子のママ

“普通”にならなくてもいいよ

姉弟で性格・思考・行動パターンが全然違う！個性の違いを日常まざまざと感じているので、親としてはもう一歩引いて受け入れて、いいところを伸ばすことを考えるしかない（諦め含め 笑）。もし私がひとりっ子ママで、それぞれ個性が違うということを実感できていなかったら…子どもが苦手な事、出来ない事にもっと不安になっていたかも。中学生になると少しずつ、子ども自身で出来ない事に対策を考え自分なりに対処出来るように。それまでは親としては、どうにかして普通になってほしいとどこか思ってしまったのかも。でもこれからの世の中、“普通”よりも“自分自身”がどうしていくかの時代。ありのままの子どもの力を信じ、見守りたいと思っています。

子どものマンガにはまり中！

小学校高学年くらいになると、友達や学校で、また動画サイトなどから得た情報を取捨選択して好み形成されてくるようで。それまで好きだったかわいいキャラクターが二の次になっての寂しさもあるけれど…マンガ、ゲーム、音楽、プログラミング、新しい世界をいろいろと教えてくれます。子どもの目を通して世の中がわかる！

トイレ掃除がイヤ！

小学生男子、トイレが汚れる！！何度言っても忘れてしまうらしく立ったまま元気に放出！毎日掃除ばかり。お腹にいた時、腎臓に問題がある可能性を指摘されたこともあるわが子、元気に生まれてくれたことに感謝はするけれど、トイレトレーニングも大変だけど、男の子、どうか早いうちに座って使う習慣をつけることがおすすめです！



3才女の子
小1女の子のママ

なんだ！そういうことだったんだ！

長女は周りの同級生と比べ発達がゆっくりで、たくさんの医療機関や専門機関に相談してきました。けどこれといった診断もなく、ゆっくりだけどこの子のペースで成長しますから^^なんて言われながら過ごしてきました。この子のペースで成長はしてるけど…と私の心の中ではどこか引っかかるものがありました。（母親の勤？）モヤモヤが残る中、就学の不安を感じながら過ごしていたある日、たまたま中耳炎になり、いつもの小児科ではなく耳鼻科を受診したことがきっかけで先天性の難聴が発覚しました。発覚したときの心情は、悲しいとか受け容れがたいというのではなく「なんだ、きこえてなかったんだ！」と発達が遅い原因がやっと分かり、安堵したのを覚えています。「だからあの時こうだったんだ」と合点がいくこともあり、不思議な感覚でした（ちなみに新生児の聴覚スクリーニング検査ではパスしていて、逆に健聴の次女は再検査になりきこえの心配をしていました）。原因がわかり、適切なアプローチが出来たおかげで現在は会話が出来ようになってコミュニケーションがより楽しくなりました。今まで言葉に出来なかった想いをこれでもかというくらい喋るので、次女ももれなくおしゃべりが上手になりお願いだから2人とも静かにしてて…（TT）という時間も増えました（笑）。



母も出来ることからちょっとずつ!

専業主婦での子育てスタート。未就園時代はいつも一緒、幼稚園入園後は役員仕事を、小学校入学後は『陽だまり』に参加したのをきっかけに、少しずつ自分がやることにチャレンジ。現在、子育てWEBマガジンのライターとして仕事しています。なんでも面倒がらず、でも無理せず&焦らず、もちろん子ども優先で。そうすると道は開けていくんじゃないかな。いつもこのスタンスは忘れずにいたいな。

私のアルバム、盗撮だらけ（涙）

撮影を嫌がるときは個人差あれどやってきます（とくに男の子）。最近は盗撮か、息子に関係ない写真ばかり（涙）。できるときに些細なことでも写真として記録に残しておくことをおすすめします。見返すと当時の気持ちまで思い出せる、最高の宝物です。

